

2019年度消防団員特別教育最高幹部教育に参加しました

2019年度消防団員特別教育最高幹部教育が、2月12日（水）滋賀県消防学校大教室において開催されました。

この特別教育は、最高幹部として必要な見識と社会情勢の変化に対応する管理能力を養成する事を目的として、県内消防団の団長および副団長を対象とし、毎年実施されています。今年度は、参加人員約70名の参加のもと、約3時間にわたり講義がありました。

最初に、原田英明 滋賀県消防学校校長より開講のあいさつがあり、続いて、嶋寺源一 滋賀県防災危機管理監より「近年の災害と本県防災行政の取り組み」と題して、令和元年中に発生した台風15号、19号について、また今後30年以内に7割から8割の確率で発生が懸念される、南海トラフや琵琶湖西岸断層帯などの広域大地震について、昭和28年以降の滋賀県内での災害の状況などの講話が約40分ありました。

その後、宮部敏 滋賀県防災危機管理局地震・危機管理室主幹より「近年の豪雨災害の支援活動報告」と題して、平成30年7月に発生した豪雨災害について県内の被害状況と他県の被害状況と滋賀県の支援状況、令和元年台風19号による他県の被害状況と滋賀県の支援状況、国（総務省）の取り組みとしての「被災市区町村応援職員確保システム」の説明など約50分の講演がありました。

次に、「平成30年7月豪雨による災害対応について」と題して、西尾精一 倉敷市消防団 団本部副団長、津谷俊則 倉敷市消防局 消防総務課 消防団係長より、倉敷市真備地区の災害状況について、消防活動について、また倉敷市消防局・倉敷市消防団の被災状況、活動状況についてのご講演をいただきました。

素晴らしいご講演を有難うございました。また、参加された皆様も大変お疲れ様でした。



原田英明 滋賀県消防学校校長
あいさつ



会場風景



嶋 寺 源 一 滋賀県防災危機管理監 講話



宮 部 敏 滋賀県防災危機管理局地震・危機管理室主幹 講演



西尾 精一 倉敷市消防団 団本部副団長 津谷 俊則 倉敷市消防局 消防総務課 消防団係長 講演

